

2014年度 法科大学院

第1回未修者入学試験問題

(小論文方式)

試験時間90分

注意事項

- イ) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ロ) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- ハ) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- ニ) 解答は必ず解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- ホ) 参照は不可となっています。
- ヘ) 解答用紙の取替え、追加配布はしないので、汚したり折り曲げたりしないこと。
- ト) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- チ) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- リ) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。
- ヌ) 故意・過失を問わず、解答欄に受験者の氏名又は受験者を特定すると判断される余事記載のある解答は無効となります。

次の文章はジャック・グディ著、吉田禎吾訳「未開と文明」の抜粋である。末尾の問いに答えなさい。

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

出典：ジャック・グディ著、吉田禎吾訳「未開と文明」(岩波現代選書)21頁～31頁(原文は縦書)。ルビ及び一部を省略している。

設問1 コミュニケーションの手段である話し言葉と文字の相違について、著者の考えを400字以内でまとめなさい。

設問2 本文中の下線を引いた箇所において、著者が、そのように述べている理由を、400字以内でまとめなさい。